

森林認証材を活用した木造住宅について

～ SGECプロジェクト認証の取得 ～

当麻町森林組合 高沢 博



良好な住環境の整備，定住の促進，中古住宅の活用，さらに住宅関連産業の活性化などを目的として，住宅の新築や中古住宅の取得に対する支援制度を設けている自治体があります。支援の対象は多岐にわたりますが，そのひとつとして，地域材，森林認証材を用いることに対する補助制度があり，2022年8月時点での一例を表1に示します。

当麻町は2013年から町産材活用促進事業*を実施しており，移住定住者の増加，町産材の活用促進，さらに脱炭素化などのへ波及効果が評価され，2021北の地域住宅賞（2021年11月）および第34回住生活月間功労者表彰（2022年10月）を受賞しています。

*:当麻町産木材を住宅全体の木材の1/2以上使用した場合，木材代金を最大で250万円補助

さらに当麻町では，町産材を用いて建てる住宅の認証取得に取り組み，今春，SGECプロジェクト認証を取得しました。建物単体でのプロジェクト認証はこれまでも例はありますが¹⁾，複数の建物が一括でプロジェクト認証を受けるのは初めてのことになります。この認証について，プロジェクトの代表を務めた当麻町森林組合から紹介されておりますので²⁾，その概要

を紹介します。

（文責：普及協会・菊地）

■ 認証取得に際しての課題

複数建築物の一括認証取得，というこれまでに例のないプロジェクトを進めるに当たり，次のような課題がありました。

- ・そもそも，複数建物の認証が可能なのか。
 - ・プロジェクト認証取得の条件として，認証材の流れを把握する必要がある。いくつもの事業者を経て住宅建築現場に納められる町産認証材を，どのように把握するか。
 - ・審査に要する費用はどこが負担するのか。最も課題となったのは認証材の把握で，今回，次のように整理しました。
- 1) 事務処理などの負担を少なくするため，構造材のみを認証の対象とした。
 - 2) 認証森林から，当組合が丸太を伐採・搬出
 - 3) 伐出した丸太は，CoC認証を取得している当組合製材工場または近隣のCoC認証取得製材工場に搬入
 - 4) 当組合製材工場ではラミナを，近隣製材工場では構造用製材を生産

表1 地域材などを用いた住宅への補助制度

市町村	事業名	事業概要
当麻町	当麻町産材活用促進事業	町産木材を積極的に活用し，町内に住宅を新築する者に補助
下川町	快適住まいづくり促進事業	新築住宅を建築または購入する場合，町産認証木材(FSC認証・SGEC認証)を10m ³ 以上使用した場合，補助額を加算
紋別市	森林認証材利活用推進事業	森林認証材を5m ³ 以上使用し，認定工務店により新築，増築，リフォームする場合に補助
美幌町	美幌町産材活用促進事業	町産認証材を使用する新築及び増改築工事を対象に補助
津別町	津別町新ふるさと定住促進事業	町内で生産または製品化された木材を10m ³ 以上使用した場合に補助
滝上町	「ずっと住まいるたきのうえ！」支援事業	町内業者が認証材で新築する場合，床面積に応じて補助
松前町	地域材で建てる住宅支援事業	町内で地域材を使用して新築又は増改築する場合に構補助
森町	炭ずみまで地域材を使おう！	地域材を利用した住宅等新築，増改築，改装に対する補助

出典:道内市町村による住宅取得等への補助・助成事町一覧(令和4年8月時点)，北海道住宅局建築指導課

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/hojoseijiyouchiran.html>

- 5) ラミナはCoC認証を取得している集成材工場で集成加工
- 6) 構造材はプレカット加工後、住宅建築現場に納入
- 7) 構造材には、町産材および認証材であることを証明するシールを貼付（写真1）
- 8) 当麻町役場は、内装材が施工される前に認証材の使用箇所、使用量を検査・確認



写真1 町産認証材であることを示すシール

2022年度は表2に示すとおり、20戸の住宅で町産認証材が利用され、住宅の構造材に占める認証材の割合は全体で97.7%，うち15戸については認証材率が100%となっています。

表2 町産認証材の使用材積等

町産認証材を活用して建築された住宅	20戸
住宅建築に関わった建築事業者	13社
20戸で使用された構造材の木材量	402.6448m ³
町産認証材の使用材積	393.5203m ³
認証材率	97.7%
構造材に認証材を100%使用した住宅	15棟
同83%～99%使用した住宅	5棟

表3 取得した認証の概要

認証取得企業・組織名	当麻町森林組合
対象施設名	当麻町産材活用促進住宅等 新改築プロジェクト
認証機関	SGS ジャパン
認証番号	SGSJ-P-W169
商標ライセンス番号	SGEC/31-31-1484

このような取り組みを経て、2023年3月7日にSGECの審査を受け、認証を取得しました（表3）。そして、2023年7月26日には認証証授与式が行われています。また、認証を取得した住宅には写真2の盾を

お渡ししています。



写真2 認証住宅であることを示す盾

■今後に向けて

認証を取得する過程の中で苦労したのは、なんと言っても審査を受けるための書類等の準備、整理でした。特に今回は関係する建物が多く、細心の注意を払いながら作業を進めないと手落ちになる部分が出てきやすいと感じました。また、町産材以外の構造材を使用する場合は、それが合法的な木材なのかを確認する必要があり、製材工場を通じたプレカット企業への確認作業は複雑でした。さらに、認証材の管理マニュアルや確認書類の作成が複雑で、これらについては認証機関の指導を受けながら進めました。

今回のプロジェクト認証にかかる審査料は約70万円～80万円ほどになります。この費用の半分については当麻町から環境譲与税を用いた補助をいただき、残り半分は当組合で負担しました。2023年度以降も認証住宅のプロジェクトを継続して進めていく考えで、そのことによって認証材の一層の活用とそれによる当麻町の活性化につなげていきたいと考えてます。

■参考資料

- 1) 杉本力：美深育ちの木々に包まれた温もりのある学び舎－美深町立仁宇布小中学校SGECプロジェクトCoC全体認証，ウッドエイジ，2021年9月号。
- 2) 高沢博：森林認証材の活用に係る説明会（上川森林認証協議会主催），2023年2月13日。